

■義淵 法相宗の僧。特別待遇され、仏教界において、律令を浸透させる役割を担った。

ぎえん(ぎいん)

蘇我入鹿の乱 643= 大和国高市郡市往岡で生まれる。百済の聖明王の子孫で、俗姓は市往氏で、地名にちなむらしい。別書では、同地在住の津守氏を父に、阿刀氏を母とし、両親が長年観音菩薩に祈願して授かった子とされるが、津守氏、阿刀氏も百済外交に従事していたことから、誕生直後、彼らに育てられたとみられる。

乙巳の変・・・ 645= 2歳：

・・・・・・ 652= 9歳：

朝鮮出兵・・・ 661=18歳：

・・・・・・ 662=19歳：_天智天皇の娘(持統天皇)が大海人皇子(天武天皇)に嫁いで、この年草壁皇子が誕生すると、天智天皇の命で、皇子とともに、市往岡の岡宮に住むが、これが、のちの特別待遇の淵源になったのは間違いない。

庚午年籍・・・ 670=27歳：

壬申の乱・・・ 672=29歳：

天武天皇の代になると、政権は新羅系仏教を採用するようになるが、この間、元興寺で出家し、新羅僧智鳳と智鸞から法相宗を受けたといい、

・・・・・・ 679=36歳：

・・・・・・ 688=45歳：

不比等娘入内 697=54歳：

・・・・・・ 699=56歳：_学行褒賞で稲1万束を賜り、初めて、歴史に登場する。

持統天皇没・ 702=59歳： 律師、僧都についた形跡もなく、持統天皇が死去した翌年、

・・・・・・ 703=60歳：*突然、僧綱の最高位、僧正に任じられる。この異例の扱いは、持統太上天皇の病氣平癒祈願の得度や講經、崩御後の設齋に関わったからとみられるが、本来、百済系の藤原不比等が覇権を握り始めることにも関係しよう。この時以来、内裏に供奉、その本務は、祖霊の追善、国土安穩、人民熾盛、天皇・皇后の無病息災祈願や經典の講説などで、供奉僧はここに始まったとされる。

・・・・・・ 706=63歳： 智鳳は、この年の藤原不比等邸での維摩会で講師を務めている。

かつて、草壁皇子とともに住んだ岡宮を賜り、市往氏の氏寺ともいえる龍蓋寺(岡寺)を創建したのを始め、龍門寺などの5ヶ龍寺を創建した。

古事記完成・ 712=69歳： この年には、僧綱は新羅僧と彼らに学んだ僧で構成されている。

元正天皇即位 715=72歳： 元正天皇が即位すると、僧正として、

光明子入内・ 716=73歳： _有名無実の寺院を併合、財産や田地、園地などを検査、記録させ、檀越らの自由にさせないようにし、

行基活動禁圧 717=74歳： _行基とその弟子らの路頭での説教など、僧尼令の規定を犯す行為を戒め、

養老律令・・・ 718=75歳： _仏門の規範となる僧を宗ごとに推挙して德行を顕彰する一方、僧尼令の規定を犯す行為を禁止、

藤原不比等没 720=77歳： 不比等が死去して長屋王の時代になると、_僧尼を直接戒めるように、より厳しくなって、經典の転読、唱

百万町歩計画 722=79歳： _僧綱の怠惰と無能を指摘、あるべき姿を確認し、法務処理を円滑に行うべく、薬師寺を僧綱の拠点とすることなど、まさに、律令を守る先頭に立った。

聖武天皇即位 724=81歳：

若くして仏法の奥義を究め、弟子を育てて、僧中の頼るべき人物となり、仏教の道を広く人々に伝えた上、内裏に仕えて以来、一度の過ちもなく、年をとるにつれ人徳を増したと、

渤海交流始・ 727=84歳： *聖武天皇の詔により、岡連の姓を賜り、兄弟に仕えることを許さるが、この年、天皇と光明子の間に生まれた某王の誕生と立太子に、また、光明子家の一大写經事業が始まったことに関係しているとみられる。

渤海交流始・ 728=85歳： _没した。次郎省の官人が喪事を監護したばかりか、多くの絲、綿、布が贈られなど、特別待遇であった。新古代史の会「人物で学ぶ日本古代史 1: 古墳・飛鳥時代編」